

令和7年度第2回日野市指定管理者候補者選定委員会 議事録

1 概要

日時	令和7年8月14日(木) 10時00分から11時30分まで
場所	日野市役所本庁舎5階 507会議室
出席	【委員】岡田委員長(企画部長)、小松副委員長(総務部長)、中沢委員(地域協働課長) 【応募事業者】特定非営利活動法人日野子育てパートナーの会
事務局	(地域協働課)木下課長補佐、糊澤主事 (企画経営課)西山課長、永尾副主幹、東瀬
議事	(1) 委員長・副委員長の選任 (2) 審査手順について (3) 日野市立万願寺交流センター指定管理者の選定について ① 施設概要説明 ② 事業者よりプレゼンテーション・質疑 (4) 主管課質疑応答 (5) 委員意見交換 (6) 採点
記録作成	(企画経営課)東瀬
配布資料	応募書類一式、採点表等審査資料一式

2 要点録

(1) 委員長・副委員長の選任

○ 事務局

委員長は日野市指定管理者候補者選定委員会設置要綱に基づき主管部長である企画部長とした。
副委員長は互選により、総務部長とした。

(2) 審査手順について

○ 事務局

本日の進行について説明。

(3) 日野市立万願寺交流センター指定管理者の選定について

① 施設概要説明

○ 施設所管課(地域協働課)

施設の概要及び運営方針等について説明。

■ 委員

公募した結果一社だった理由について、分析しているようなことがあれば教えていただきたい。

○ 施設所管課

詳細な分析はしていないが、子育てひろばのように子育てを含めた運営が見込まれ、一般的な交流センターと比べて特殊な部分が存在する。この点が影響しているかもしれない。

■ 委員

子育てひろばについて、現状の開館日、利用時間について募集時にお知らせしているのか。子育てひろばとは違う利用の提案をされた場合どうするのか。

○ 施設所管課

現状の開館日、利用時間を募集時に伝えている。別の利用の提案が来た場合は、協議が必要と考えている。

■ 委員

ここで指定管理者が決まったら、子育てひろば事業もセットで同じ期間受託することになるのか。

○ 施設所管課

子育てひろば事業については所管課が別であるためわからない。他の交流センターでは指定管理者と子育てひろば事業委託事業者が異なるケースもある。

■ 委員

指定管理者と子育てひろばの運営事業者が異なると運営が難しいと思う。他の交流センターとは違う特殊な環境。

○ 施設所管課

施設の立地上、一定程度しかたがないと思う。今回は、展示室の活用方法なども含め、公募時に提案を求めている。公募方式に切り替えた理由の一つがより幅広い提案を受けるため。子育て世代だけでなく多世代が利用できるアイデアを期待している。

② プレゼンテーション及び質疑応答（特定非営利活動法人日野子育てパートナーの会）

<特定非営利活動法人日野子育てパートナーの会入室>

◇ 特定非営利活動法人日野子育てパートナーの会

提案内容についてプレゼンテーション、説明。

■ 委員

自主事業の規模感、収入の見込みはどの程度で考えているか。また、収益を指定管理料に充当しないとの記載があるが、もし想定以上に収入が高くなった場合などの考えについて教えていただきたい。

◇ 特定非営利活動法人日野子育てパートナーの会

自主事業について、一番大きなものがおまつりであるが、収入は一切なくボランティアによる参加で大きな支出はない。フリーマーケットについては、1ブースを担当し売上は1万円程度あるが、昨年度までは全額を募金に充てており収益は生じない。このほかについても収益を伴う計画はしていない。

■ 委員

アンケート実施について、方法や対象人数、また寄せられた意見の内容についてお聞きしたい。

◇ 特定非営利活動法人日野子育てパートナーの会

アンケートは年に1度実施しており、直近では年度末に利用者から38件を紙で回収した。今年は市が設定したフォーマットを使用。毎年いい評価を頂いており、内容としては、Wi-Fi設置の要望が多い他、キャッシュレス決済の導入、昨年度はエアコン設定温度に関する意見などがあつた。

■ 委員

提案にあつた展示スペース利用について、期間はどの程度か。またこれまでの展示の募集方法についてお聞きしたい。

◇ 特定非営利活動法人日野子育てパートナーの会

展示期間は3か月を予定している。立ち上げ当初は地域の老人施設や小学校、幼稚園などに足を運んで声かけを行っていたが、その後は周知が進み、近隣の方々から応募が入るようになった。

■ 委員

駐車場に物が捨てられていた事例があつたとのこと。指定管理者としての対応策や、安全面で留意している点は。

◇ 特定非営利活動法人日野子育てパートナーの会

早急に気づける体制構築と、問題が発生した場合にはすぐに市へ連絡して対応方法を確認している。

■ 委員

自主事業について、収益を市民サービスの向上に活用する考えはあってもいいのではないかと思う。そういった考え、方針があるかを伺いたい。

◇ 特定非営利活動法人日野子育てパートナーの会

自主事業は、どのようなイベントであれば人が集まり、楽しめる内容になるかを考えつつ実施しており、費用は取っても少額の材料費程度と考えている。収益を得ることを目的とした自主事業は考えていない。今後は市民からの情報や意見を取り入れながら進めていきたい。

■ 委員

市役所でも職員の確保が難しい状況だが、人員体制の確保について苦労があるのか、どのような状況であるのか。

◇ 特定非営利活動法人日野子育てパートナーの会

子育て支援事業として始まり、毎年秋に市民向けの養成講座を実施し、関心を持った人が会員として参加する仕組みになっている。毎年10名ほどの新規希望者があり、他の活動と並行しながら関わっていただいているため時間的な制限があるが、例年メンバーは減ることなく微増傾向にある。

■ 委員

IT化やDXによる業務の合理化に対応できるような人材はいるのか。

◇ 特定非営利活動法人日野子育てパートナーの会

徐々にあるがフォーマット化を進めている。受付担当者による人員集計についても、共有化し効率を向上するよう努力している。全員が対応できる部分を探りながら、模索しながら取り組んでいる。

■ 委員

高齢者と子ども、あるいは若い保護者同士の交流といった取り組みを実施しているか、または今後やってみたいなどのお考えは。

◇ 特定非営利活動法人日野子育てパートナーの会

近隣の高齢者施設に展示を依頼した際に交流の機会について声をかけ、ひろばをいつでも利用できるよう伝えたことがあり、その後何度か来られた際には笑顔で過ごされていた。

■ 委員

緊急時対策としての土嚢について、常時備えているのか。

◇ 特定非営利活動法人日野子育てパートナーの会

建物は外との段差がなく雨天時に浸水するため土嚢が必要。すぐに劣化するため常に入れ替えながら備えている。

■ 委員

放課後に多くの小学生が来るとのことだが、具体的にどこで過ごしているのか。

◇ 特定非営利活動法人日野子育てパートナーの会

子育てひろばが終わったあとの放課後、サロンなどの部屋で過ごし、机を出して宿題をすることもあ。特定の場所に固まるのではなく点在しながらの利用が多い。

<特定非営利活動法人日野子育てパートナーの会退室>

(4) 主管課質疑応答

■ 委員

今後について、展示ケースを市としては撤去したいのか残したいのか。

○ 施設所管課

展示については方法によると考えており、現在の展示ケースを使った広いスペースまでは必要ないと考えている。展示ケースは大きくスペースをとる。撤去して壁面展示のみにすれば、床が広がる。

今回、撤去した場合と残した場合のいずれのパターンにも対応できるご提案をいただいた。

■ 委員

稼働率について、子育てひろばの利用者も含まれているのか。

○ 施設所管課

子育てひろばの利用者も含まれており、それを除くと1割程度減る。それでも稼働率は6割程度あり、他の交流センターと比べても依然高い。

<施設所管課退室>

(5) 委員意見交換

■ 委員

特になし

(6) 採点

■ 委員長

採点、提出いただき次第終了。

(閉会)